

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

2009 年度補正予算案が 5 月 29 日に成立しました。その額なんと 13 兆 9300 億円！ 補正予算としては過去最大規模です。ついこの間までは緊縮財政で国民に我慢を強いてきましたが、180 度の政策転換と言えます。これを機に国内の株価も上昇し、景気回復のカンフル剤としての期待が高まっています。しかし、冷静になって考えてみると、補正予算の原資は国債などの国の借金です。そこで、国の借金がどのくらいあるのか調べてみました。財務省のホームページに日本の借金時計というページがあります (<http://www.geocities.jp/mkqdj167/japan.htm>)。ここで、国債および借入金債務現在高が刻々と刻まれています。編集後記を書いている 6 月 15 日現在で、940 兆 3437 億円です。国民一人あたりで約 736 万円になります(一世帯あたりではありませんよ！)。全て後生の子供達が担うことになります。私は建設部門の技術士ですが、社会資本整備を進めていく上では、後生の国民にとっての生活や経済活動などの下支えとなるように！ また、決して負の遺産とならないように！ 中長期的な視点からの必要性の議論が重要であると痛感します。

さて、本号から新企画として、「会員のひろば」および「私のプロジェクト X」を掲載開始しました。「会員のひろば」では、会員の「お薦め」や「ご当地検定」について紹介しています。地域情報の収集や話のネタとして活用していただけるのではないのでしょうか？！ また、「私のプロジェクト X」は、会員の中から無作為に人選させていただき、その方の技術者としての足跡を紹介するものです。記念すべき第 1 回目は、大島前支部長からご投稿していただきました。本企画により、会員皆様方の資質向上や自己啓発の一助となれば幸いです。

今後とも会員皆様方の期待に添うよう紙面づくりに励む所存ですので、ご愛読賜りますようお願い申し上げます。

(第 118 号 編集担当 阿部 正明)